日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

モンゴル赤十字社
保健支援事業

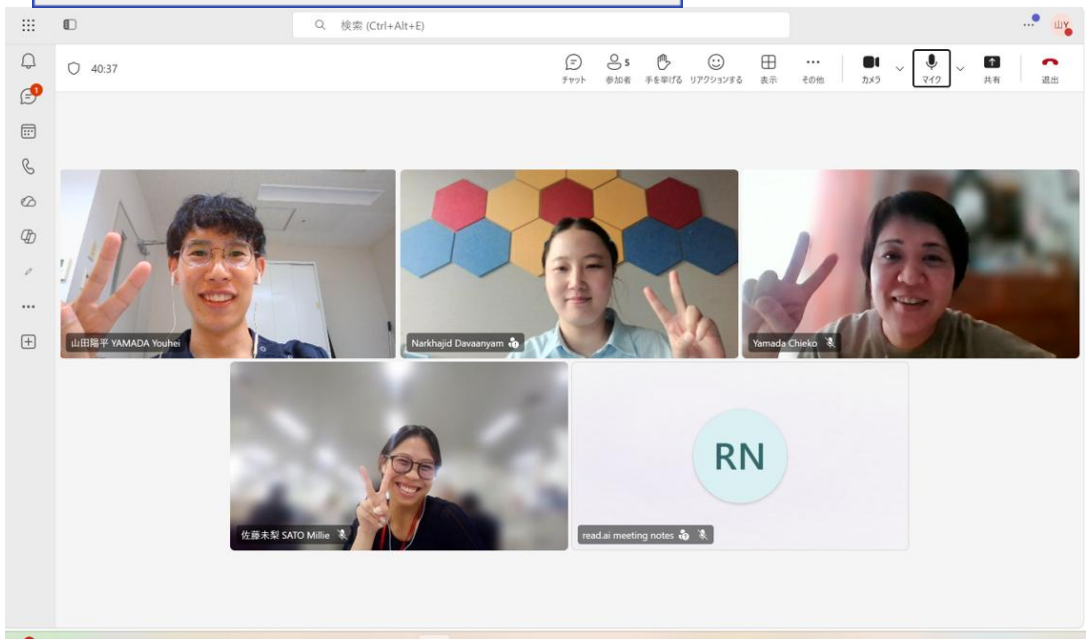
日赤愛知医療センター名古屋第二病院
リハビリテーション科　作業療法士
MHPSS要員　山田陽平

派遣形態





- 2026年4月1日～2027年3月31日
- MHPSS(Mental Health and Psychosocial Support)要員
- 基本的にはリモートで現地赤十字社を支援
- 短期出張として現地へ赴くことあり



事業概要





緊急救援





復興支援



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の開発協力





現地の赤十字・赤新月社が事業を実施するための**資金的、技術的、人的な支援**を行い、もって災害や感染症、また慢性的な貧困などの**脅威に立ち向かう自助・共助・公助の仕組み**が機能するコミュニティづくり、すなわち**レジリエンスの強化**に貢献すること。

事業概要

- 事業名：モンゴル赤十字社保健支援事業
- 事業期間：2024年4月～2027年3月（3カ年）
- 事業形態：二国間事業
- 目的：モンゴル赤の災害等への対応能力強化
- 事業内容：

【救急法】講習・資機材拡充、教本の整備など
【MHPSS】ガイドラインの整備、人材育成など

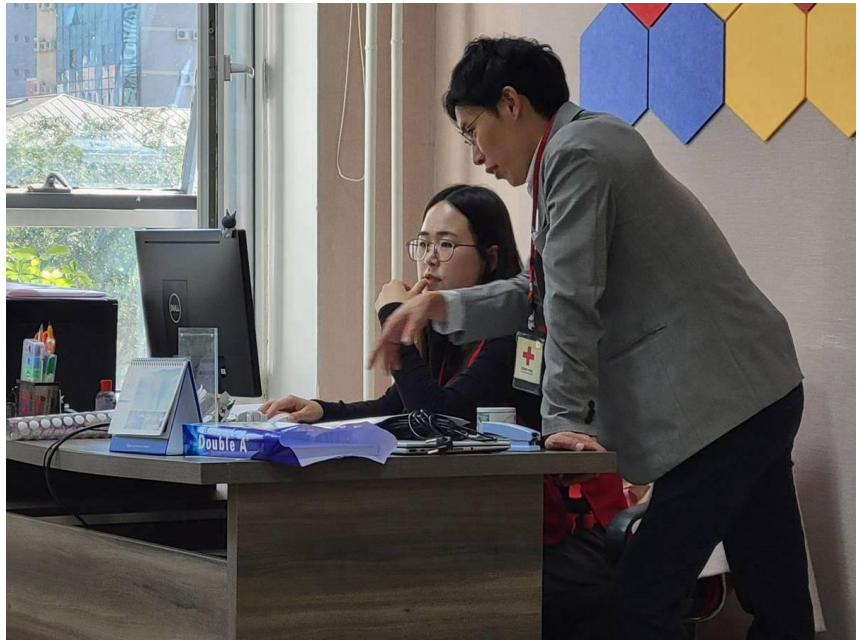
本派遣での成果

- 期間：9月6日～9月12日

- 目的：

1. MHPSS研修運営
2. モンゴル赤と事業評価に向けての議論





1.MHPSS研修の運営

- 9 月8日～10日（3日間）
- モンゴル赤青少年研修施設
- モンゴル赤職員及びボランティアの基礎的なMHPSS知識の向上、子供向け活動について理解を深めるため
- 講師

  日赤：2名　モンゴル赤：2名
- 参加者

  32名　NEMA(National Emergency Management Agency), GABP(General Authority for Boader Protection)など他組織からも参加あり





研修の様子

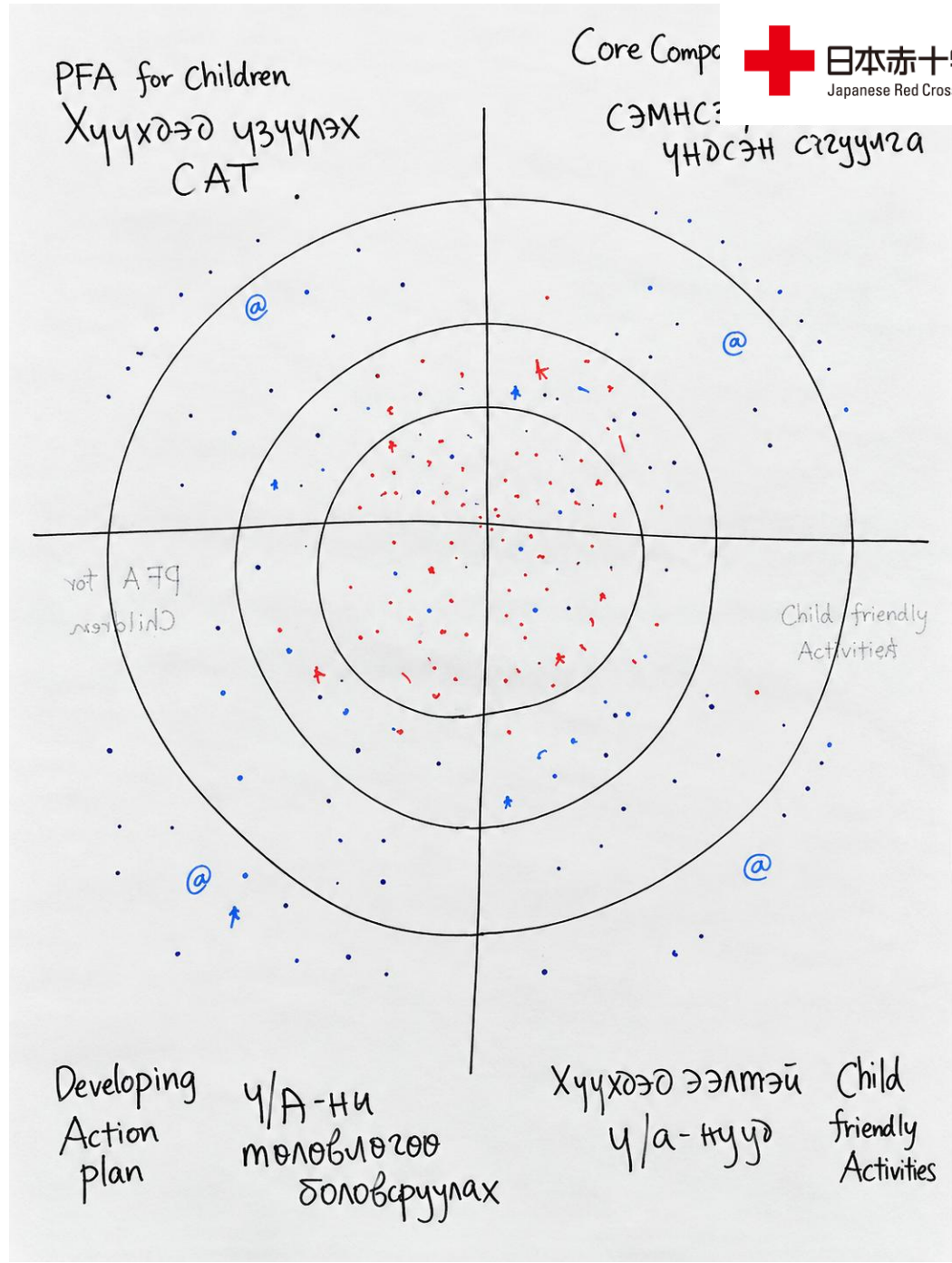
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society











日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

今後の事業に向けて

- Face-to-Faceで関係性を構築できた。
- 3か年事業の最期であり最終評価を進めていく。
- モンゴル赤の主体性を促し、日赤要員として補完的な立場で支援を継続したい。



Б а я р л а л а а

